

クラスター対策の主な取組について①

群馬県

取組 1) クラスターの事例検証を実施



【目的】

- 県内の有料老人ホームで発生した大規模クラスター事例の検証作業を実施。二度と同様の事態を繰り返さないよう、課題を整理し、対策の充実を図る

【概要】

- 「初動対応」「搬送」「検体採取」「保健所への業務支援」「感染症対策の指導」など、7つのテーマで課題を整理。今後の対応等を取りまとめ

【取組状況】

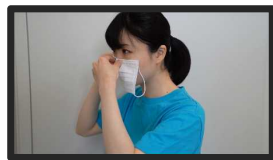
- 当該事例を踏まえ、「発熱状況等報告システム」を活用した初期探知、施設に対する感染症対策の指導充実、クラスター発生時における搬送手段の確保など様々な対策を実施

■検証報告書は県ホームページに掲載しております。
住宅型有料老人ホーム「藤和の苑」における新型コロナウイルス感染症集団発生の検証について
https://www.pref.gunma.jp/02/d23g_00298.html

発熱システム

施設が毎日、
入居者等の発熱
の有無を報告

感染対策動画



tsulunos

感染症対策の 専門家派遣



高齢者・障害者施設

搬送用車両



介護従事者向けの 相談サポートセンター



悩み相談など

クラスター対策の主な取組について②

群馬県

取組2) 「夜の街関連」集中PCR検査の実施

【期間】 8月21日～9月4日（期間を延長して実施）

【対象】 前橋市内の接待を伴う飲食店（キャバクラ、ホストクラブ） 約40店舗

【検体採取】 ドライブスルー方式により県職員が検体を採取（唾液）

【検査件数】 検査件数 200件 【陽性者数】 4名

取組3) クラスター対策チームの設置

【クラスター対策チーム（C-MAT※）の設置】

- ・ 高齢者施設、障害者施設、医療機関等において、入所者等に陽性患者が発生した場合に、施設における感染拡大を防止するため、施設の支援にあたる機動的なチームを設置

※C-MAT：Corona virus Mobile Assistance Team

【チーム編成】 感染症指定医療機関の医師、看護師、業務調整員及び保健所職員等

【出動基準】 高齢者施設等で陽性患者が1名以上発生し、クラスターにつながるおそれがある場合（原則、発生確認日の翌日までに出勤）

【活動内容】 クラスター発生防止のための助言、支援（感染対策の支援、検査対象の検討、検体採取、患者の入院・搬送調整等）

- ・ 保健所は終息までフォロー。必要に応じて国のクラスター一班の支援を要請